

磯崎新 群島としての建築 トークイベント in KYOTO

(出演)

浅田彰 × 松井茂



日時：2025年12月27日（土）

15:00～17:00（開場 14:30）

会場：MEDIA SHOP（京都市中京区河原町三条大黒町44 VOXビル1F）

出演：浅田彰（批評家／京都芸術大学教授）

松井茂（詩人／情報科学芸術大学院大学教授）

司会：川勝真一（一般社団法人建築センター CoAK）

料金：一般：2,000円 学生 1,500円

定員：30名（要予約）メールにてご予約お願ひいたします。（mediashop@media-shop.co.jp）

別途、オンライン配信あり

協力：一般社団法人建築センター CoAK、水戸芸術館現代美術センター

オンライン配信はこち
ら



<https://x.gd/hzXYn>

水戸芸術館現代ギャラリーにて、
2026年1月25日（日）まで開催中の展覧会「磯崎新：群島としての建築」について、浅田彰氏を特別ゲストとしてお話を伺います。加えて、同展のゲストキュレーターである松井茂氏からも見どころを紹介していただきます。

浅田彰

批評家、京都芸術大学大学院教授。磯崎新とは、『現代思想』1985年8月号（特集「ディコンストラクション」）誌上の対談を契機に交流を持つ。1991年から2000年まで、「Any」をキーワードに開催した10回の国際会議において、各回で磯崎と連名で発表を行う。この発表を通じて、「デミウルゴス」「始源のもどき」「海市」「アーキペラゴ」等、磯崎のレイスタイルを飾るタームが練成される過程に大きく関与した。「群島としての建築」展のキュレーションにおいても、浅田の言説に導かれた観点が多くある。（文責：松井茂）

松井茂

1975年東京生まれ。著書に『虚像培養芸術論 アートとテレビジョンの想像力』（フィルムアート社、2021年）、川崎弘二との共著書に『坂本龍一のメディア・パフォーマンス マス・メディアの中の芸術家像』（同、2023年）、伊村靖子との共編書に『虚像の時代 東野芳明美術批評選』（河出書房新社、2013年）。キュレーションに「磯崎新 12x5=60」（ワタリウム美術館、2014、15年）、「磯崎新：群島としての建築」（水戸芸術館、2025、26年）など。アーカイブ監修に「坂本龍一 | 音を見る時を聴く」（東京都現代美術館、2024、25年）。

写真提供：水戸芸術館現代美術センター

